

我が国の省庁等、政府系機関からは日々多種多様な情報が発信されます。(株)現代文化研究所はその中から広くモビリティに関する注目情報を所定期間にわたりピックアップ、テーマを設定した上で、その切り口から関連情報を整理し、お伝えします。

【今週のテーマ/注目情報】\*モニタリング期間：2020年1～12月

## コロナ禍での交通事故発生状況-2020年12月

< 概要 >

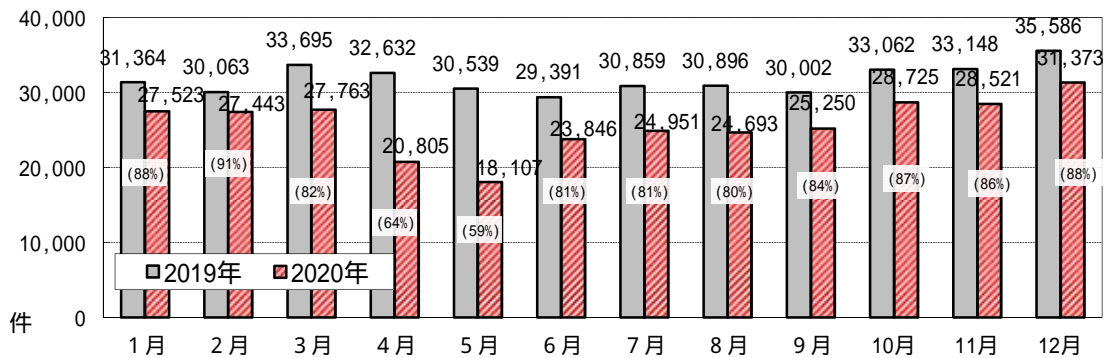
12月の交通事故発生件数は、前年同月比88%で、前年同月との減少幅が3月以降で最も小さくなり、また1年間で交通事故の発生件数が最も多い月となった。(図表1)  
交通事故による死者数も、12月は前年同月比では84%と、16ポイント減少したが、年間で最も多い月となった。(図表2)

< 当社の視点 >

コロナ禍の外出率低下等により、2020年は前年に比べ、交通事故発生件数は81%、交通事故死者数は86%に減少したが、ハインリッヒの法則によれば、『1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、さらにその裏には300の事故に至らなかった“ヒヤリ・ハット”がある』とされる。実際の事故の300倍の「危ないっ!」を防止する対策が求められる。

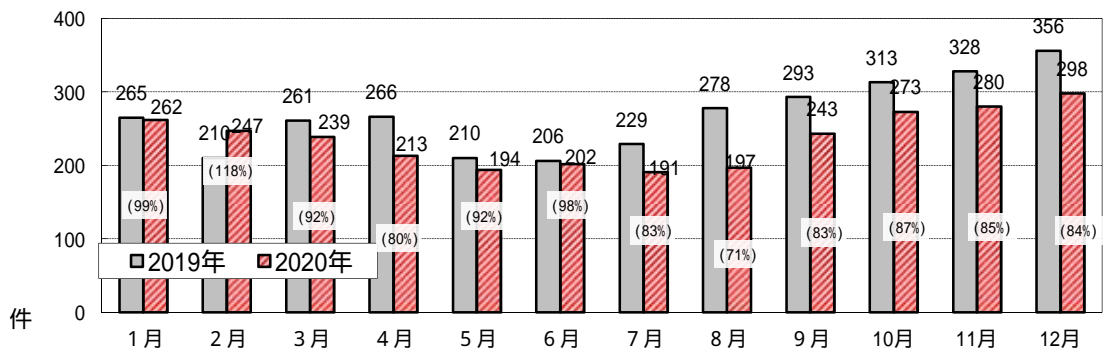
図表1. 2020年1～12月の交通事故発生件数

( )は前年同月比



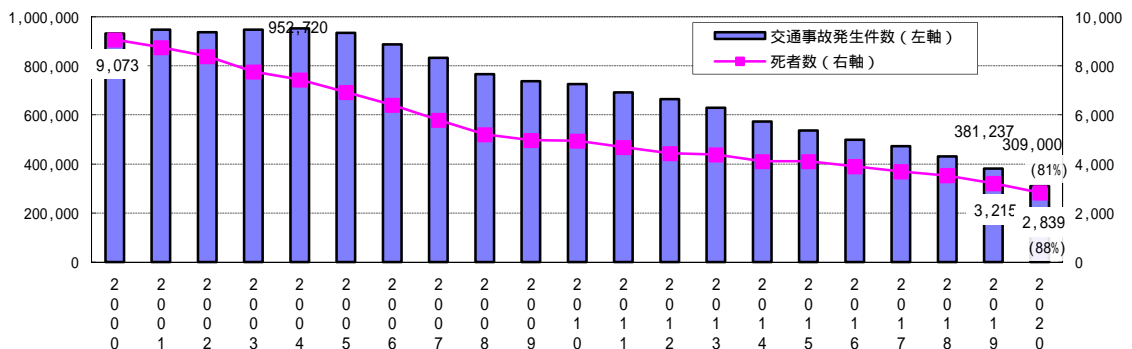
図表2. 2020年1～12月の交通事故死者数

( )は前年同月比



参考：2000～2020年の交通事故発生件数と交通事故死者数の推移

( )は前年比



出典：警察庁「交通事故統計」